

令和2年度

委員会だより

第2回 子育て委員会編

NO. 2

北海道PTA連合会

令和2年12月21日(月) 発行

12月5日(土)に第2回子育て委員会の開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により書面開催となりました。

研究内容のまとめ・次年度の方向性につきましては、開催されました研修会やご紹介されました単位PTAの活動、広報活動等をもとに記載しております。

1 研究テーマ

- (1) 全道統一スローガン 「今 こころ輝いて 親として 人として」
- (2) 今年度の研究テーマ 「豊かな心をもった子どもを育てる親のあり方」

2 成果と課題 ～ 令和2年度 地区子育て研修会 報告書から

(1) 子育て委員会の活性化と組織の充実のあり方

〈各地区子育て委員会を組織化し、活性化させるための地区子育て研修会はどうあればよいか〉

<成果>

○講演内容やテーマの組織的な選考と決定

- ・全道統一スローガンを受け、大会主題「子どもの自主性、主体性を育むために」とした。
- ・地域素材から「親子でフラワーリース作り」を実施。
- ・研修内容は～笑顔が子どもに与える影響～とし親が笑顔であることが大切であることを研修した。
- ・新たな挑戦～未来へ向かう多様な学びをリモートで～コロナ禍の中で何が出来るか模索し実施。
- ・子育て委員会で研修会の内容について意見交換した中で、思春期に関する話を聞きたいという意見が大多数であったため今回の講演会に決定した。
- ・オリンピックイヤーで、スポーツを通じた子育てに関わる話の要望から企画した。
- ・内容は「特別支援教育」とした。
- ・役員会で講演内容について協議しており要望どおりのテーマにしたことから会員からも大変好評であった。

○研修会の形態や活動の工夫(分科会・グループワーク・体験的な活動等)

- ・本年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一会場に参加者を集約するこれまでの方法では開催できないことを早々に判断し、YouTubeライブ配信として新たな方法を工夫した。
- ・事務局のみが参加しDVDにまとめ、各単Pへ配付し、視聴してもらうこととした。
- ・全体会には講師の先生とzoomで繋いでLIVE配信した。
- ・「会員が一堂に会しての講演会・分科会」は行わず、YouTubeを利用して会員がいつでもどこでも講演を見られる形式とした。

- ・事後のアンケートはGoogleフォームを活用して行う。
- ・コロナウイルス感染拡大防止はもちろん、会場に足を運ぶ煩わしさが無い、改めて再視聴できる良さなど、家族で講演内容を共有でき話題作りになるなどこれまでにない大きな成果を得ることができた。
- ・新型コロナの流行に配慮しつつもPTAの学びを止めない姿勢を、会の内外に示すことができた。
- ・Web上での開催ということでライブ感には欠けるものの、多くの会員の学びの機会を提供することができた。
- ・ネット環境がない会員に向けて、講演動画を収録したDVDを各学校に配布する予定である。
- ・五感を育むことにPTAも地域の方と共に取り組んだ。
- ・講演動画は、1本10～25分として見やすくした。
- ・限定公開とし、講師のプライバシーに配慮した。

<課題>

○集結が困難な場合（コロナ禍等）の開催方法について記録化し、活動の流れを止めない確実な引き継ぎを行う。

- ・コロナ禍だからではなく、WAVE開催を含めた検証
- ・DVD作成～単Pで研修実施・各家庭での視聴の効果の検証
- ・今後同様の形態をとるのであれば、簡便な方法で会員の意向調査を行い、可能な限りそれに沿った内容の講演講師を選定できるとよい。

〈それぞれの実態に応じたスムーズな引き継ぎの在り方はどうあればよいか。〉

<成果>

- ・新型コロナウイルス感染症の流行がなかなか読めず、感染状況によって緊急な変更を余儀なくされた。安全を第一に考えた変更の決断はやむを得なかったと考える。中止ではなく形を変えて実施できたことは成果である。

<課題>

- ・各単Pにおける、DVDの有効活用についての検証が必要である。
- ・公開期限の12月末までにどれだけ視聴されるかが楽しみである。
- ・今後同様の形態をとるのであれば、簡便な方法で会員の意向調査を行い、可能な限りそれに沿った内容の講演・講師を選定できるとよい
- ・今年度は状況を見ながらの活動となりますが、今の時代だからこそできることを探りながら、引き続き発信して行けたらと思います。

〈子育て支援のため、自治体、教育委員会等関係機関や学校、地域との連携はどうあればよいか。〉

<成果>

○地域と連携した研修内容の選定と決定

- ・地元を知ること。長沼には素晴らしい花農家さんが沢山いる！親子で、花の色やかおりで感触を楽しむことが出来た。地域を知るとは素晴らしいことだと改めて感じた。
- ・各地区の教育局、教育委員会、子育て推進協議会また同地区のPTA連合会と連携して、講師を選定したり、研修テーマ等を設定したりしている地区が多い。（R元年度より）

<課 題>

- ・「子育て委員会」単独開催は難しいので、いかに地区研と連携を図るか。
- ・関係機関との連携方法。互いの活動へ期待する姿の共有化。

(2) 「生きる力」を育てる家庭教育のあり方

〈家庭の教育力を高めるためにはどうあればよいか。〉

<成 果>

- ・不条理に抗う思春期の子どもとどう向き合えばよいのか、ホルモンバランスから見た思春期・身体の発達と心の成長よりの講演を聴き、子どもへの寄り添い方や正しく理解することが大切なことを学んだ。
- ・講師の座右の銘「いやな顔は身の破滅」「ちょっとした気配りが明日への道」に感銘を受けた。
- ・「笑顔ママ」の子どもは自然な笑顔の絶えない明るく元気な子どもに育っていく。笑顔の大切さを学んだ。
- ・ラグビーを通して生徒に寄り添い、愛情たっぷりの教育論に心打たれた。ラグビーワールドカップで活躍したリーチマイケルさんの話題も取り入れながら、大変興味深い内容であった。
- ・顔ヨガの体験もさせていただきました。いつも表情豊かに笑顔あふれるコミュニケーションを心掛けることが大切だと学んだ。

<課 題>

- ・親は子どもを正しく理解し、寄り添い体罰や虐待を未然に防止する。
- ・感情をコントロールする方法として、アンガーマネジメントの研修を広める。
- ・興味深い、旬のテーマの活用と講師の選定。

(3) 子育て委員会発の話題提供源としての広報活動

<成 果>

・北海道PTA連合会では、北海道新聞社との共催により、例年ブロックごとに1会場を原則に広報活動研修会を開催してきましたが、今年度はコロナウイルス感染症の拡大防止のため、全ての地区で広報活動研修会が中止になり、広報紙を作成する際に役立つ研修を行うことができませんでした。皆様には、広報活動の推進に大変苦慮されたことと思います。

そこで、情報提供を目的として、「第1回子育て委員会」の折に、各地区代表の子育て委員を対象に広報活動研修会を実施しました。例年ご協力いただいている北海道新聞社に依頼し講師を派遣していただき、「広報紙作成のスキル」について研修いたしました。全道各地への普及活動の一環と捉えております。広報紙コンクールにつきましても、各ブロックでの研修会は実施できませんでしたが、年1回でも応募可能という要請を日本PTA協議会に聞き入れていただき、各地区PTA連合会事務局を通して、各単位PTAにご案内したところです。

ちなみに令和2年度は、

・北見市立高栄（こうえい）中学校PTAの「しらかば」が日本PTA全国協議会会長賞を石狩市立生振（おやふる）小学校PTAと帯広市立帯広第一中学校PTAが佳作を受賞しました。おめでとうございます。

<課題>

・令和2年度の会報については、令和元年度に開催された「広報改善委員会」の改善案に基づき活動を進めてきました。

「全道の特徴的な取り組みを広く普及すること。」 「全ての地区の取組を2年間かけて紹介すること。」

これらを目標として、執筆計画を作成し、会報に記事を掲載しました。ただ、新型コロナウイルス感染症の影響で、内容の一部変更や活動を紹介する地区に偏りが生じてしまいました。次年度以降も同様の状況が想定されますが、基本の目標を意識しながら、会報の執筆に取り組んでいきます。

・新しいHPへの投稿の仕方について何度か訂正・変更等があり、確定時期が遅くなりました。今後も更なる使い方の改善を図り、北海道PTA連合会のHPにアクセスしHPを活用していただくよう、取組を進めていきたいと考えています。

3 次年度の方向性

(1) 子育て委員会の活性化と組織の充実のあり方

○昨年度、母親委員会から子育て委員会に名称が変わったことを受け、家庭・学校・地域全体で、子どもたちを育むという視点から、委員会の活動の活性化に努める。

○地区別の子育て研修会における委員の活動を積極的に進めるために、今後も委員会の構成や取組等について情報交流を行っていくとともに、活動の目的・趣旨等の共通理解に努める。

○全道各25地区の子育て委員はじめ北海道全体にPTA活動が浸透していくように、各地区別の研修会や道Pの会議や研究大会への積極的な参加を呼びかけるとともに、ホームページの充実を図り、閲覧・投稿等の呼びかけを行い、組織や活動の活性化を図る。

(2) 「生きる力」を育てる家庭教育のあり方

○社会の状況が複雑になっており、子育てに悩む親は多い。家庭内だけで悩みを抱えるのではなく、多くの人と思いを共有する意見交流の場を設定したり、地域や関係機関と連携できるように情報等を発信したりする。

○望ましい家庭教育の在り方を追求することができるよう、各地区の研修会等の取り組みを交流し、参考資料として整備する。

(3) 子育て委員会発の話題提供源としての広報活動

○広報活動研修会や会報内容の充実、会員自ら参加・運営するホームページの取り組みを引き継ぎ広めていくなど、PTA活動の活性化につながる取組を進めていこうと考えています。

北海道PTA連合会事務局

〒060—0003 札幌市中央区北1条西3丁目 STV時計台通ビル6階
TEL (011)251-6937 FAX (011)210-0929
Eメールアドレス info@hokkaido-pta.jp